

## ニュースルーム

～生産技術データのAI活用加速に向けて～

# 味の素(株)、経済産業省・NEDO主催「GENIAC」採択事業に生成AIスタートアップのストックマーク(株)のAI-Ready化※1プロジェクトパートナー企業として参画

2026.05.14 [プレスリリース](#)

[コーポレート](#)

[食品](#)

[商品](#)

[研究・技術](#)

※1) 文書をAIが正しく読み取り・検索・活用でき

味の素株式会社(社長:中村 茂雄 本社:東京都中央区)は、経済産業省およびNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業が主催する国家プロジェクト「GENIAC(Generative AI Accelerator Challenge)」において、採択事業者である生成AIスタートアップ株式会社(代表取締役CEO:林 達 本社:東京都港区、以下ストックマーク社)が推進するAI-Ready化※1に関する研究開発として参画します。当社は生産活動における社内技術文書等の現場データや技術的な知見のAI-Ready化に向けた実証を開始して生成AIの高度活用によるDXを加速させていきます。

GENIACは生成AIの開発力強化と社会実装による経済効果の創出を目的に、製造業をはじめとする各産業の実データを対象とするプロジェクトであり、企業内のデータやノウハウをAIが活用できる資産に転換する取り組みを重要なテーマとして位置づけていく社は企業内データをAI活用に適した形へ整備・高度化する技術と知見を有しており、このテーマを推進する重要な役割を担

当社では、長年にわたり培ってきた製造・技術の知見が、研究報告・技術資料や従業員の暗黙知として蓄積されている一方で、AI活用により、これらが資産として十分に活用されていないという課題を抱えています。また生成AIの活用が進展する中で、企業内のデータに安全かつ効果的に活用するかが製造業における競争力の鍵となります。このような現状や課題認識の下、ストックマーク社よりの参画の打診を受け、本事業に参画することを決定しました。

本取り組みでは、当社の食品事業を支える生産・エンジニア領域における技術標準書や技術アセスメント資料等を対象に、構造化を通じてAIが理解・活用できる形へと再設計し、AI-Ready化を進めます。この連携により単なる情報検索にとどまらず、熟練技術の知識化し、業務プロセスを支援するAIエージェント活用までを見据えた検証を行います。当社は本取り組みを2026年5月から実証管理、設備保全、研究開発など他領域への展開も視野に入れ、現場判断や業務プロセス自体をAIが支援することで業務変革に生産データのAI活用モデルの確立を目指します。

当社が「アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する」という志(パーパス)の下、中期ASV(Ajinomoto Group Shared Value)経営2030ロードマップ実現に向けて事業を推進する中で、経営基盤強化の一環として当社の強みである技術力とAIの活用を通じた高度化・資産化および次世代への継承を進めており、その中で本取り組みをデータとAIを活用した持続人財育成・競争力強化に資する施策と位置づけています。またGENIACへの参画により、社内変革のみならず製造業全体における成長への役割も期待できることから、事業を通じた社会価値と経済価値の共創を図るASV経営を進化させる手段として本取り組み

## ■ストックマーク社概要

- (1)社名:ストックマーク株式会社(Stockmark Inc.)
- (2)所在地:東京都港区南青山1丁目12-3 LIFORK MINAMI AOYAMA S209
- (3)設立時期:2015年12月17日(前身のウィズソフト株式会社は1990年3月29日設立)
- (4)代表者:代表取締役CEO 林 達
- (5)事業内容:自然言語処理を活用した企業文化変革の支援を行うサービスの開発・運営
- (6)従業員数:151名(2026年4月時点)
- (7)ホームページ:<https://stockmark.co.jp/>

Stoc

[ニュースルームTOPに戻る](#) >

[報道関係者お問い合わせ・プレスリリース配信希望はこちら](#)

[ウェブサイト利用規約](#) [プライバシーポリシー](#)

[外国にある第三者への提供について](#)

[ウェブアクセシビリティ](#)

[味の素グループ サイト一覧](#)



一覧

© AJINOMOTO CO., INC. All rights reserved.